

郵趣振興協会 活動報告（18）

2021年度 第2Q

2021年6月8日～2021年9月6日

特定非営利活動法人 郵趣振興協会

特定非営利活動法人 郵趣振興協会（以下「当協会」と略す。）は、その活動について広く伝えるため、3ヶ月に一度レポートを発行し、電子メール等で正会員・賛助会員にお伝えすると共に、無料でご掲載いただける雑誌媒体に同一内容を提供しております。

全国切手展「スタンペックス ジャパン2022」の開催を決定

全国切手展「スタンペックス ジャパン」ですが、共催の郵政博物館（通信文化協会）ならびに審査委員会（審査委員長：佐藤浩一氏）と、日程・内容について合意を得ることができ、3年連続の開催が決定しました。日程は来年2022年3月26日から28日の三日間です。

開催時期が4月から3月に移動したことで、当協会の2021年度決算期間中に2度の全国展を開催することになりました。しかし、前クオーターの活動報告でご案内差し上げました通り、スタンペックスジャパン2021に関する当協会拠出金額は、予算30万円に対して94,100円（32%）に抑えて運営できております。20万円以上の予算が残っていますので、現時点ですぐに新予算を組まずに当面はこの範囲で運営を進めるよう実行委員会に委ねています。

なお当協会からは、齋享理事が実行委員長に、横山裕三理事が実行委員会事務局長として、本事業に携わります。

詳細は今週金曜日までにホームページで発表するほか、協賛・後援を中心に、郵趣メディアにリリースを送付予定です。この3ヶ月間に多くのことを決定して参りましたが、全国切手展という催事では公平性が重要なため、本活動報告の発行時点では、正会員・賛助会員のみならず宛であってもこれ以上の発表が難しい性質であることをどうかご理解ください。そして、詳細につきましては金曜日にホームページなどで発表しますので、どうぞご覧いただければ幸いです。

定款の事務所住所の変更を総会で決定

当協会は、事務所経費節減の為、定款に記載が必要な事務所の住所を、無料世界切手カタログ・スタンペディア株式会社（以下、スタンペディア社）の本社住所に置いています。この度、スタンペディア社が移転することになり、それに伴い、当協会も6月に移転しましたが、NPO法人の場合は、定款に定める住所の変更には総会決議が必要なため、7月15日に総会を開催し、これを決議しました。なお、スタンペディア社からは今後も当面の間、無料で住所を使わせていただけるお申し出をいただいています。従いまして本移転によりかかる家賃負担はありませんが、法令の定める登記手続きにより印紙負担が必要となります。

各種事業の進捗について

当協会は5つの事業「エキシビジョン事業」「フィラテリー必需品サプライ事業」「リサーチ及び研究推進事業」「フィラテリックPR事業」「次世代育成事業」を行っています。当クォーターにおける、各事業及び総務ほかの進捗をご報告いたします。

エキシビジョン事業

スタンペックスジャパン2022実行委員会（横山裕三 実行委員会事務局長）の立ち上げ

郵政博物館（通信文化協会）との打ち合わせ

審査委員会（佐藤浩一審査委員長）との打ち合わせ

郵博 特別切手コレクション展（2021年度）の開催を決定。

9/25-10/24 第8回ヨーロッパ切手展

11/20-12/23 第4回南方占領地のフィラテリー展

郵政博物館主催事業への協力

9/23-11/28 スポーツ切手展 & from 1896 to 2016 への展示作品の紹介

フィラテリー必需品サプライ事業

「ヒンジ・カバー用コーナー・透明マウント」の3品目を最重要対象品とした、Amazon.co.jpにおける供給体制を維持。（本事業は随意契約の形で、無料世界切手カタログ・スタンペディア株式会社に委託しています）

リサーチ及び研究推進事業

リーフ作成雛形提供事業の準備を継続中

フィラテリックPR事業

ウェブサイトにおける情報発信を実施（6-8月で28件。対前四半期-40%）

オンライン郵趣例会 振興プロジェクト（斎享リーダー）の活動の継続

当協会が、技術および宣伝協力した、オンライン郵趣例会の開催 4団体23回

オンライン郵趣例会を開催する切手サークルに対する集客支援方法の提供 2団体14回

次世代育成事業

特になし

総務ほか

総会の開催・住所の変更（7/15）

総会決議を受けて、登記変更の準備（対応中）

日常的な経理業務、問合せ業務への対応

（報告者：代表理事 吉田敬）